『学校力向上に関する総合実践事業』コーナー その８

今号は前頁に引き続き「社会教育との積極的な連携・社会教育のカリキュラム化」（子ども朝活）について紹介します。

なお、この事業の数値目標は「５・６年児童の参加率５０％以上」でしたが、４日間を平均すると７０％の参加率で、目標を大きく超えて達成することができました。

○７月３０日（水）…３日目

この日も「ストレッチタイム」で身体を目覚めさせ、「課題解決タイム」でしっかりと学習に取り組んだ後、この日の体験プログラム「北前商船取引を学ぼう」という学習ゲームに挑戦しました。講師は、江差町教育委員会社会教育課学芸員の宮原さんです。３人１組で決められた小判を持ち、各地の港で特産品の売買を体験するというゲーム。サイコロの目で商品の代金が変わるなど、運勝負のゲームではありましたが、江差に戻った時には小判が増えているようにと、全員が夢中で取り組んでいました。残念ながら最終的に「損をした！」というグループもありましたが、各地の港を巡る側とそれぞれの港で商売をする側、どちらも体験することができ、とても満足そうでした。この日の振り返りシートには、次のような感想が書かれていました。

- 北前船のゲームが楽しかったし、勉強にもなってよかった。
- 昔の商売は大変だったということを知ることができました。
- 北前船のゲームでは、得をしながら進んでいくのがすごくドキドキしました。

○７月３１日（木）…４日目

いよいよ子ども朝活も最終日を迎えました。この日は「ストレッチタイム」の後の「課題解決タイム」を１時間で切り上げ、バスで江差町役場の保健センターに向かいました。最終日の体験プログラムは「親子でクッキング」に挑戦です。平日の日中ということもあって保護者は６名の参加でしたが、子どもたちと一緒に調理に参加していただきました。ご多用の中、本当にありがとうございました。講師は江差町食生活改善推進協議会の皆様。メニューは「タコライス・かき玉汁・フルーツヨーグルト」の３品。調理室内はさすがに暑かったですが、野菜を刻んだり、炒めたり、盛りつけたりと５・６年生で協力し合いながら活動していました。場所を移して試食タイム。「おいしい！」という声が圧倒的で、ほとんどの参加児童が完食。「初めて食べた」というタコライスもすっかりお気に入りになったようでした。また、食べている時に「早寝・早起き・朝ご飯」の大切さについても分かりやすく説明してもらいました。この日の振り返りシートには、次のような感想が書かれていました。

- タコライスは食べられないと思っていたけど、食べてみるとおいしかった。
- 調理がみんなと楽しくできてとてもよかったです。
- クッキングが楽しかったです。これからも勉強を頑張ろうと思いました。
- 「朝活」に参加して、勉強もできて、ゲームやスポーツ、クッキング、石けん作りなど色々な体験ができて楽しかった。

「子ども朝活」に参加できた児童は「楽しかった」「来てよかった」「学習もはかどった」などとても好印象をもつことができたようです。この事業にご協力いただいた方々（運営ボランティア）に心から感謝申し上げます。

なお、「子ども朝活」は、冬季休業中も５・６年生を対象に３日間実施する予定です。